

英語科学習指導案

広島市立大塚中学校

- 1 日時・場所 令和元年11月6日(水) 10:15~11:05 会場 会議室A
- 2 学年・学級 1年1組(男子15名 女子17名 計32名)
- 3 単元名 ONE WORLD ENGLISH COURSE 1 Lesson 6 外国の学校と日本の学校
- 4 単元について

(1) 教材観

本単元では、日本、アメリカ、オーストラリアの中学校の違いが話題として展開されており、部活動でスポーツをする時期、昼食の時間、中学校での1日の生活についての会話が題材として扱われている。そのため、疑問詞のWho~?, Where~? What time~? やHow many(long)~?など、時、場所、時刻、ものの長さや時間の長さについて情報を交換するための表現が出てきている。したがって、平成29年度告示の学習指導要領の「話すこと(やり取り)」のイ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする」ことの指導として位置づけ、これまでの学習した言語材料を基にして、場面や状況に合わせた適切な質問をしたり、それに応えたりする中で情報を整理して表現することへとつなげることができる題材である。

(2) 生徒観

本学級は、英語学習に意欲的に取り組むことができる生徒が多いが、英語をコミュニケーションのツールとして発話する自信が極めて低い。6月に実施した前期中間試験では、学年平均が80.1点のところ、本学級の生徒は83.2点であり、知識等については概ね定着していると言える。しかし、パフォーマンス(プレゼンテーション)テストでは、意欲・態度面では4.2点(学年平均4.7/6点満点)、表現の面では3.0点(学年平均4.8/6点満点)と学年平均と比較すると低い傾向にある。

7月に実施した以下のアンケートの結果から、英語で話す機会があれば話してみようと思っている生徒は多いが、間違いを恐れて自らの考えを伝えることができていることが課題として挙げられる。授業の中でも、ALTと会話をしようとする生徒は多いが、英語が理解できない場面はすぐに日本語に頼ろうとする姿勢も見られる。そのため、本単元ではALTと会話する場面を多く設定して日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して表現させることや、会話の中で得た情報をもとに、自信を持ってインタビュー形式で場所やものについて紹介することを最終目標として設定する。

「英語授業に関する意識調査」より抜粋

(N = 29)

質問項目	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない
英語を学ぶことに興味や関心があります。(英語を学ぶことが好きです。)	20	7	2
英語の授業はよく分かります。	21	7	1
外国の方(観光客、留学生など)と英語で話す機会があれば話してみたいと思います。	20	6	3
ALTによる英語の授業では、間違いを恐れず積極的に自分の考えなどを話しています。	7	17	5
4月のときより、英語で話すことができるようになっていきます。	28	1	0

(3) 指導観

生徒の意欲を喚起できるように、以前本校に在籍していた3名の外国出身者の学校についての情

報を読むことを前半に取り入れる。最終的な目的を「海外からの旅行者（ALTの家族）に向けた日本のおすすめの場所やものを紹介する」ことであることを明確に示し、そのために必要な事項について、言語使用場面を意識した帯活動を計画的に仕組むことにより、場面や状況に合わせた適切な質問をしたり、それに応えたりすることに慣れさせる。

指導にあたっては、帯活動として、学習した語彙や表現を使って話す活動を繰り返し行い、基礎的な表現の定着を図るとともに、「Small talk」では、ペアでお互いの気持ちや考えを交流し合うことを通して、積極的に英語を使って、自分の考えを自信をもって伝えるよう意識させたい。

また、ALTとのやり取りの中で、実際のコミュニケーションの場面を想定したモデルを示し、やりとりのモデルをもとに、生徒が質問したり答えたりする活動を繰り返し設定する。常に最終的な目的を生徒に意識させて、会話の中から適切に情報を引き出して、紹介したい場所やものについて伝える活動を積み重ねることによって、自信をもって話すことができるよう指導したい。

5 単元の目標

ある場所やものについて、得た情報をもとに口頭（インタビュー形式）で紹介することができる。

※「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標との関連 → 話すこと（やり取り）②

※「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標【第1学年】

外国語表現の能力		外国語理解の能力	
話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
<p>[やりとり]</p> <p>① 身近な話題について、聞いたり読んだりしたことについて尋ねたり、尋ねられたことについて答えたりすることができる。</p> <p>② 絵や写真についての情報を伝え、それについて簡単な意見交換ができる。</p> <p>[発表]</p> <p>③ メモを見ながら短い自己紹介や周りのものについて紹介することができる。</p>	<p>① 辞書を用いて、伝えたい内容が正しく伝わるように適切な表現を用いて書くことができる。</p> <p>② 自分や身のまわりの人やものを紹介したり、説明したりする文を書くことができる。</p>	<p>① 相手からの指示や質問、依頼を聞いてそれに応じることができる。</p> <p>② 身近な話題について、ゆくり繰り返し説明されれば情報を聞き取ることができる。</p>	<p>① 短い英文を読んで、必要な情報を取り出すことができる。</p> <p>② シンプルで短い英文を読んで、要点を読み取ることができる。</p>

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違ふことを恐れず積極的に知りたい情報をたずねたり、場所やものを紹介したりしている。	語句や表現、文法事項などの知識を活用し、得た情報をもとに、ある場所やものについて紹介できる。		

7 指導と評価の計画（全8時間）

時	学習活動	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ○ 「海外からの旅行者に日本のおすすめの場所をインタビュー形式で紹介する」 ことについて理解する。 ○ 教科書(part 1~3)を読み日本とアメリカの学校の違いをまとめる。 ○ さらに知りたいことについて質問を考える。 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書(part 4) を読み日本とオーストラリアの学校との違いをまとめる。 ○ さらに知りたいことについて質問を考える。 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3人の生徒（アメリカ2人・ドイツ1人）の学校と自分たちの学校の違いを読み取る。 ○ さらに知りたいことについて質問を考える。 	ア	活動観察
4 TT 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○ ALTの地元で有名な場所やものについて、知りたい情報を質問する。 ○ 5W1Hに関する疑問文とその応答を用いて、状況に応じて適切に情報を引き出している。 	イ	活動観察 後日パフォーマンステスト
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外からの旅行者に日本で紹介したい場所と理由をグループで考える。 		
6 TT	<ul style="list-style-type: none"> ○ ALTがなりきっている人に身近な場所についてインタビューをして、必要な情報を質問したり答えたりする。 	イ	活動の観察 後日パフォーマンステスト
7 TT	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海外からの旅行者に日本のおすすめの場所をインタビュー形式で紹介する。 	ア, イ	パフォーマンステスト
8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 紹介する場所についての情報を交換し、インタビュー形式の紹介文を作成する。 		

（観点別評価の進め方）

ア 間違ふことを恐れず積極的に知りたい情報をたずねたり、場所やものを紹介したりしている。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）

- (1) 評価方法
第3時の3人の生徒について質問をする活動及びパフォーマンステストにおいて評価する。
- (2) 評価の決定
分からない表現等があっても、知っている語句や表現に置き換えるなど、最後まで英語で話そうとする意欲が見られる場合は、「概ね満足できる」状況（B）とする。
- (3) 「努力を要する状況」（C）と判断した生徒に対しての手立て
紹介したいことを整理、確認した上で、適切な英単語や表現を挙げさせることや辞書を積極的に活用するように声かけや支援をする。

イ 語句や表現、文法事項などの知識を活用し、得た情報をもとに、ある場所やものについて紹介できる。（外国語表現の能力）

- (1) 評価方法
パフォーマンステストで、インタビュー形式の紹介内容を評価する。
- (2) 「概ね満足できる」状況（B）と判断した具体例
A: Hello, I will show you a picture. This is "Moyai-Zo."

B: "Moyai-Zo"? What's that?

A: It's a statue.

B: Where is it?

A: It's in Shibuya, Tokyo.

B: Oh, I see. Is it popular in Japan?

A: Not so much...but it's very funny. If you touch it, you can become happy.

B: I want to go (and) touch it. Thank you.

⇒紹介する物等の情報を端的に示し、相手に明確にわかるように伝えている。またおすすめの理由を付け加えている。不正確さや不完全さが若干見受けられるものの、既習表現等を自分なりに活用しながら紹介することができるのなら、(B)とする。

(3) 「努力を要する状況」(C)と判断した生徒に対しての手立て

ALTからの評価を受け、改善策や今後の見通しをフィードバックする。その際、具体的な表現の提示や表現方法等を助言し、次につながるような指導に努める。

8 本時について

(1) 本時のめあて

紹介された場所やものについての情報をたずねる。

(2) 本時の評価規準と具体的な生徒の姿

観点	評価規準	具体的な生徒の姿
外国語表現の能力 【話すこと】	紹介された場所やものについて、知りたい情報を相手にたずねることができる。	・5W1Hに関する疑問文とその応答を用いて、状況に応じて適切に情報を引き出している。

(3) 本時の指導過程と評価

学習活動	指導上の留意点 (教師の支援)	評価規準 (評価方法)
1 帯活動 ○ スラスラEnglish ○ Small Talk -Where do you want to go? 与えられたトピックについて、ペアで自由に会話を継続する。	◇ [スラスラ]では、簡単な疑問文に対する応答を自動化して言えるように、テンポ良く繰り返し行う。 ◆ [Small Talk]では、最初の文を繰り返し練習させた後に活動に入る。 ◆ 活動中机間指導を行い、個別に支援する。	
2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">紹介された場所やものについての情報をたずねることができる。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">チャーリー先生がモデルとして、アメリカの有名な場所やものを教えてください。写真についてあなたたちが知りたい情報をインタビューする立場で、できるだけ聞き出してください。</div>		
3 ALTが紹介している場所を見る。 (Pictures) ① Biltmore Estate ② Blue Ridge Parkway	◇ ALTが名称だけを提示し、生徒の興味を喚起する。	

<p>③ Cape Hatteras</p> <p>4 質問を考える。 Try it out (Group Work)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知りたいことをどのようにたずねたらよいか、グループで考える。 <p>5 聞き方や答え方を練習する。(Mingle)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本特有の場所のカード (+情報) について情報を交換する。 <p>6 ALTに写真についてたずねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体でALTが紹介した場所やものについて質問をし、情報をワークシートに書き込み完成させる。 <p>7 まとめ(Consolidation)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ALT's Presentation ALTのプレゼンを聞き、聞き取った情報が合っているかを確認する。 	<p>◇ 生徒の主体的な学びに任せ、ALTは歩きながら、挙手や声で呼ばれたグループで質問に回答する。</p> <p>◆ 途中でさりげなくヒントとなる文型(Useful phrases) を黒板に掲示する。</p> <p>◆ 説明後モデリングを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ALT: Hi, can I ask you some questions? JTE: Sure. ALT: What's that? JTE: It's Istukushima shrine. ALT: Where is it? JTE: It's in Hatsukaichi. ALT: How old is it? JTE: It's about 850 years old. ALT: Thank you. JTE: Thank you.</p> </div> <p>◇ 活動を観察し、フィードバックを行う。再度同じ活動を行い、いかせるようにする。</p> <p>◇ 間違いを恐れずに、チャレンジすることを奨励する。</p> <p>◆ ペアで相談する時間を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>JTE: Let's try to ask Charlie sensei about the pictures. Do you have any questions about picture 1? Any volunteers? S: Where is it? ALT: It's in △△. S: How tall is it? ALT: It's □□. S: How old is it? ALT: It's ☆☆ years old.</p> </div> <p>◇ ALTが3つの写真の場所やものについて1つずつまとまりのある英文で紹介することを通して、情報をつかんで確認しながら聞き取らせる。</p>	<p>イ 紹介された場所やものについて、知りたい情報を相手にたずねることができる。</p> <p>(観察・後日パフォーマンステスト)</p>
<p>8 本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価シートに記入する。 	<p>◇ 本時のめあてが達成できたかを、自己評価シートに記入させる。</p>	